

一、年終發給平日日 四月八日
 二、關東卷煙聯合 十
 三、卷煙聯合員 十
 四、卷煙人員 四五各(内文五各)
 五、年終團圓
 六、營業員選 六六各(内文一八各)
 七、企業系 十
 八、資本金 三十員
 九、外資者 宮 創 三 羽
 十、各 聯 日 本 勸 業 社 友 會 組
 十一、專業主眼
 十二、三月二十日
 十三、日本勸業社友會組卷煙年終團圓
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、

財團法人協調會大阪支所
 本團為大協調會大調委員

財團法人協調會大阪支所

四、爭議發生原因

インフレ景氣ニヨル物價騰貴ノ爲生活ニ支障ヲ來シタルト賃銀
 値上ニヨル他會社爭議ニ刺戟サレ從業員ハ協議ノ結果口頭ヲ以
 テ賃銀一割五分値上ヲ歎願シタルニヨル

五、爭議經過及解決

三月四日從業員ハ協議ノ結果職工代表 藤居末吉及瓜野伊之助ハ
 工場長左居宗介ニ對シ賃銀一割五分値上方ヲ嘆願シタルニ會社
 側ハ何分調査ノ上後日回答ヲ約シタルニ從業員側ノ強硬派四十
 五名ハ翌五日始業時ヨリ罷業ヲ敢行セリ而シテ會社側ハ十日
 前記從業員代表ヲ工場事務所ニ招致シ日給五錢及請負工資五分
 上ヲナス旨回答シタルニ飽迄一割五分値上ヲ主張シテ譲ラズ十
 三日夕再見種々折衝ノ結果工場ハ即時賃銀九歩値上ヲ實施スル
 コト、ナリ圓滿ニ解決シタ